

果樹病虫害発生予察調査結果（6／24調査分）
（三条、加茂、田上地域）

6月24日に実施した予察調査結果についてお知らせいたします。

（共通）

- 6月22日に梅雨入りし、今後は高温多湿や降雨の日が多くなると予想されます。降雨前防除・新梢管理・SSの走行路を変更する等、散布ムラを解消し、病害・虫害を防ぎましょう。
- ナシヒメシンクイ第2世代幼虫の防除時期は、**6月25～27日頃**です。6月の誘殺数は増加傾向で、モモの新梢では芯折れ被害も確認されています。

（ナシ）

調査地点ごとに5新梢、100果を調査しました。

- セイヨウナシ褐色斑点病の発生が拡大していて、枝病斑が確認された地点もあります。今後の天候でさらに拡大することが予想されますので、発生が少ないうちに、り病枝・り病葉を摘み取り園外で処分しましょう。
- 花腐細菌病の発生が確認されている地点があります。新梢整理の過程で、り病枝の切除をお願いしていますが、引き続き、発見した場合は切除し園外で処分しましょう。
- 黒星病の発生は少ないものの、梅雨入りにより今後は、感染危険度が高くなることが予想されます。り病葉・り病果の除去とともに、園内の過湿を防ぎ、通風をよくすることも大切ですので、新梢管理や排水改善にも努めましょう。
- ワタアブラムシの寄生が確認されている地点があります。寄生部位は摘み取り園外で処分するとともに、薬剤防除を行う場合は抵抗性を抑制するため、同系統の薬剤を連用しないよう注意してください。

- ニセナシサビダニによる被害葉が確認されている地点があります。ハダニ類とともに今後の多発生に注意し、発生初期の防除に努めましょう。

(モ モ)

調査地点ごとに5新梢、100果を調査しました。

- 多くの調査園地においてせん孔細菌病のり病葉が確認されています。り病部位は切除し、園外で処分するとともに、防風施設の点検等も実施しましょう。
- 今回調査では灰星病等の果実腐敗病害は確認されませんでした。収穫間際の被害に注意し、JAの「令和6年度 桃 収穫・管理日程表」を参考に収穫前防除を実施しましょう。

(ブドウ)

調査地点ごとに100葉、100果房、5a内でのつるを調査しました。

- 一部で、サビダニ類やマメコガネによる被害葉が確認されています。発生初期の防除に努めましょう。

次回調査は7月10日(水)を予定しています。

担当 : 中越支所 果樹共済係 TEL : 0258-36-8105 FAX : 0258-34-8020
